

令和4年度 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 水産漁港課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	漁港整備官 藤原 信一 (漁港漁場整備班主幹 小西 直哉)	内線	4172 (4177)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
漁港	妻鹿漁港 (水産流通基盤整備事業)	姫路市白浜町	15億円	-	令和5 (2023)年度	令和9 (2027)年度
事業目的					事業内容	
妻鹿漁港は、家島諸島に位置する家島漁港や坊勢漁港等近隣漁船の陸揚げが多く、水産物加工場等が多数所在する播磨地域の流通拠点漁港として重要な役割を担う漁港である。本事業では、屋根付き浮棧橋整備と関連事業である荷さばき施設改修等により、水産振興に向けた更なる陸揚げ・集荷機能の強化を目指す。 漁獲物の衛生管理レベル確保 流通拠点漁港で必要となる漁獲物の衛生管理レベル確保を図る。 陸揚げ量の増加 イカナゴ不漁等で落ち込む船びき網漁業の出漁機会を増やし、陸揚げ量増加を図る。 漁業作業の軽労化・効率化 重労働・非効率な陸揚げ時の人力作業を解消し、作業の軽労化・効率化を図る。					【延長など】 浮棧橋 1基 長さ66m×幅22m(予定) 連絡橋、屋根 1式 【負担割合】 国50%、県45%、市5% 【関連事業】 荷さばき施設改修(衛生管理対策、老朽化対策)等 [事業主体：漁協]	
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	現状、屋根が無い簡易浮棧橋で陸揚げしており、直射日光や風雨による漁獲物の鮮度低下が価格下落を引き起こし、船びき網漁業のシラス取引価格は県内他地域に比べ低い傾向にある。よって、陸揚げから出荷に至る一連の動線において、直射日光や風雨を避ける屋根の整備等衛生管理対策を実施し、流通拠点漁港で必要となる衛生管理レベルを確保する必要がある。 現状の簡易浮棧橋は、荒天の度に連絡橋等を陸上へ一時撤去・再設置を余儀なくされおり、その作業のため本来出漁可能な機会を逸している。また、イカナゴ不漁等により落ち込む船びき網漁業の陸揚げ量増加に向け、一時撤去・再設置作業を解消し出漁機会を増やす必要がある。 現在、陸揚げ作業は漁獲物を人力で荷揚げ・荷下ろししており、漁業者の高齢化に伴い重労働かつ人手を要する非効率な作業となっている。よって、人力作業の解消により漁業作業を軽労化・効率化させる必要がある。 既存荷さばき施設が手狭でスペースが不足しているものの、隣接地に拡幅する余地がないため、荷さばきスペースの確保が必要である。					
(2)有効性・効率性 (執行環境状況)	費用便益比B/C = 2.3 屋根付き浮棧橋整備と関連事業である荷さばき施設改修等により、衛生管理レベルを確保することで、鮮度低下を防ぎ漁獲物の価格下落防止効果が期待できる。(陸揚げ額の8%相当) 簡易浮棧橋の連絡橋等の荒天時一時撤去・再設置作業の解消により、出漁機会が増える。(出漁可能日数 年間10日増加) 浮棧橋整備と荷さばき施設改修等を併せて実施することで、漁獲物の箱をクレーンで漁船から荷揚げ可能とし、かつ陸揚げから出荷トラックまでフォークリフトによる一貫輸送を可能とすることで、漁業作業を軽労化・効率化させる。具体には、陸揚げ作業人員削減及び作業時間短縮等。(1隻あたりのべ作業人員・時間 50人・分 10人・分) 荷さばきスペース不足を補う規模の浮棧橋整備により、スペースを確保する。 漁業者から屋根付き浮棧橋整備及び荷さばき施設改修等を望まれており、関係する姫路市漁協・家島漁協・坊勢漁協・水産加工組合等から事業実施に関する合意を得ている。					
(3)環境適合性	漁船の陸揚げ時間短縮により、漁船運転時間が減りCO ₂ 排出量の削減が期待できる。					
(4)優先性	漁業者の高齢化、新規就業者減少による水産業衰退が懸念されている中、流通拠点漁港における陸揚げ・集荷機能強化による水産振興を図るべく、早期の取り組みが望まれる。					
【事後評価】 対象・対象外	漁獲物の陸揚げ金額や量等により整備効果を把握・検証するため、事後評価を行う。					

めが 漁港事業 (妻鹿漁港)

位置図



目的

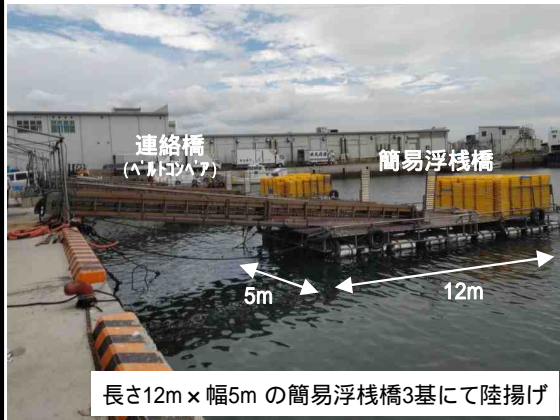
播磨地域の流通拠点漁港である妻鹿漁港の陸揚げ・集荷機能の強化
 漁獲物の衛生管理レベル確保
 陸揚げ量の増加
 漁業作業の軽労化・効率化

事業概要

事業箇所: 姫路市白浜町
 総事業費: 15億円
 内用地補償費: -
 事業期間: R5 ~ R9
 事業概要: 浮棧橋 1基
 (長さ66m × 幅22m(予定))
 連絡橋、屋根 1式
 費用便益比B/C: 2.3
 関連事業: 荷さばき施設改修等
 [事業主体: 漁協]

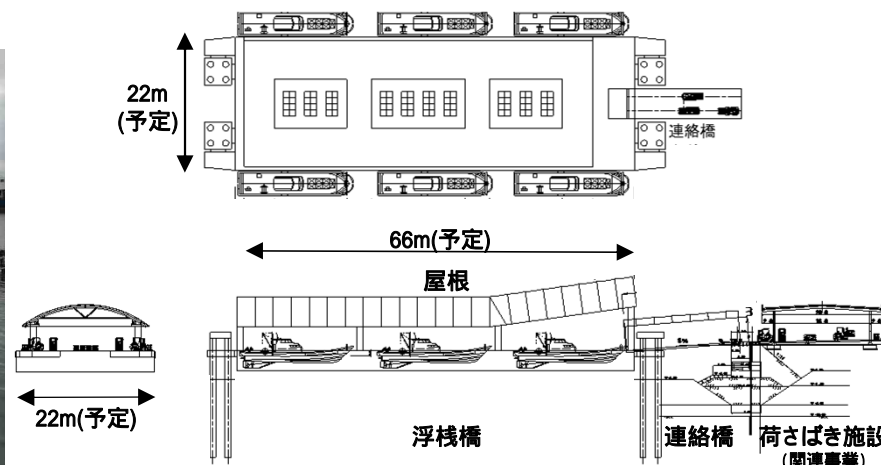
平面・横断図

現況写真



計画平面・横断図

寸法は概数



工程表

工種	R5	R6	R7	R8	R9
詳細設計					
浮棧橋					
連絡橋					
屋根					
荷捌き施設改修等					関連事業[事業主体: 漁協]

事業の必要性・優先性

現状の簡易浮棧橋及び荷さばき施設は、衛生管理レベルが流通拠点漁港としては不十分。
 【直射日光、風雨を避ける屋根が無い等 鮮度低下により、漁獲物価格下落】
 現状の簡易浮棧橋は、荒天の度に連絡橋等を陸上へ一時撤去・再設置作業が必要。【作業日 出漁不可】
 現状の陸揚げ作業は、人力のため漁業者の高齢化に伴い重労働となっている他、人手を要する作業となっている。
 また、既存荷さばき施設のスペースが不足。
 【漁船からベルトコンベアへ荷揚げ、ベルトコンベアから荷下ろしが人力作業 漁業者の高齢化に伴い重労働】
 【1隻あたり5人程度の人手を要する 非効率】
 【現状の荷さばきスペース 240㎡、必要荷さばきスペース 370㎡ 不足】
 以上の課題に対応すべく、屋根付き浮棧橋を整備する。

現状

人力による漁船からベルトコンベアへ荷揚げ、ベルトコンベアから荷下ろし作業が重労働かつ人手を要するため非効率。



計画

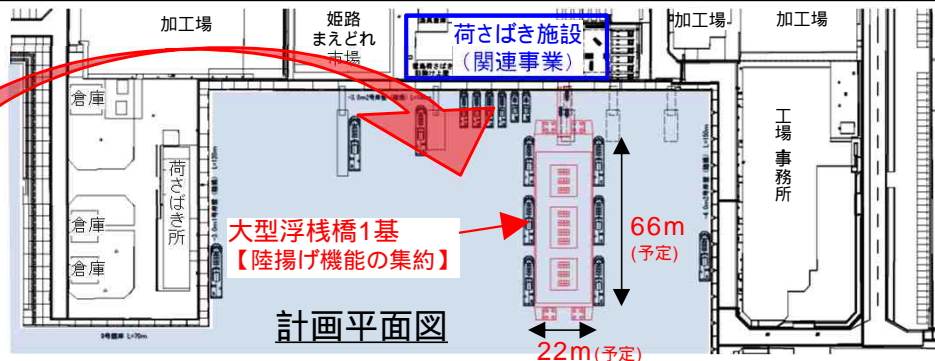
クレーンによる荷揚げ、陸揚げから出荷トラックまで一貫したフォークリフト輸送により人力および人手を要する作業を解消し、作業の軽労化・効率化を図る。



整備効果

- ・ 屋根付き浮棧橋、荷さばき施設改修等 衛生管理レベル確保 (陸揚げ額8%相当の価格下落を防止)
- ・ 出漁機会増加 (出漁可能日数 年間10日増加)
- ・ 人力作業解消 軽労化、作業人員削減 効率化 (1隻あたりのべ人員・時間 50人・分 10人・分)

平面図



現況写真

衛生管理レベルが不十分
 (直射日光、風雨を避けるための屋根が無い)



簡易浮棧橋
 (荒天の度に連絡橋等の撤去・再設置作業が必要)



人力作業による陸揚げ作業
 (ベルトコンベアへ人力で陸揚げ・荷下ろし)



事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
漁獲物の付加価値効果	・衛生管理レベル確保による漁獲物の価格下落防止効果
漁業者の所得向上効果	・荒天時における連絡橋・ベルトコンベア等の一時撤去・再設置作業解消による陸揚げ可能日数(=出漁可能日数)の増加
水産物生産コストの削減効果	・陸揚げ作業における人員削減・作業時間の短縮 ・荒天時における連絡橋・ベルトコンベア等一時撤去・再設置作業の解消 ・陸揚げ作業におけるけい船作業時間の短縮 ・沖待ち時間の短縮 ・ベルトコンベア修理費用の解消
漁業就業者の労働環境改善効果	・陸揚げ作業環境の改善による快適性・安全性の向上

費用便益費(B/C)算出根拠

B(便益)		C(費用)			B / C
便益額 (百万円)	代表的な 効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
漁獲物の付加価値効果	1,295	1,321	1,201	120	2.3
衛生管理レベル確保による漁獲物の価格下落防止効果 [陸揚げ額の8%相当]					
漁業者の所得向上効果	1,527				
連絡橋・ベルトコンベア等の荒天時一時撤去・再設置作業解消による出漁可能日数増加 [年間10日増加]					
水産物生産コストの削減効果	207				
陸揚げ作業における人員削減・作業時間の短縮 [1隻あたりのべ人員・時間 50人・分 10人・分]					
漁業就業者の労働環境改善効果	3				
計	3,032				

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
水産物認知度向上への貢献	漁獲物のブランド化		衛生管理面の強化により、シラス等漁獲物の鮮度向上に伴うブランド化が期待される。 その効果として、認知度が上がり新たな販路拡大や販売戦略等の展開も期待できる。
<small>うみぎょう</small> 海業 や漁業活動を通じた地域振興への貢献 <small>海業(うみぎょう)・・・ 海や漁村の地域資源の価値や魅力を 活用し地域のにぎわいや所得と雇用を 生み出すことを目的とした取り組み</small>	漁港と周辺地域における観光振興、地域活性化		直販所や食事施設、姫路市中央卸売市場(来春移転)、漁業体験見学船「第八ふじなみ」(坊勢漁協運営)など周辺地域資源との連携により、漁業者と来訪者が交流する機会を創出し、観光振興や地域活性化の取り組みに寄与する。

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	R元年度に、妻鹿漁港活性化検討委員会より浮棧橋整備に関する要望が出されている。浮棧橋整備と漁協が事業主体である荷さばき施設改修等を一体として整備するため、漁業協同組合・水産加工業者等と妻鹿漁港活性化検討協議会を設立している。同協議会にて、事業化に対する合意を得ている。
-------	--